



「調伝」は、誉めること・尊敬すること、そして豊かな自然が欠かせない。

火の国阿蘇の
恵みのブランド

然
zen
A s o C i t y

馬を調教するとは言わない。

調伝という造語を編み出した。

「教えられるという姿勢からは受け身しか生まないが、
伝えられたら自ら考えなければならぬ」

そう、この「調から伝へ」の「馬のトレーニング」は人間の教育論に通じます。

ラグーマンだった梅木康裕さんは、大学卒業後ホテル学校で学ぶ。

九州全体の観光地図を作っていたら、

「阿蘇が浮きあがって迫ってきました」

その渦中に入ってみようと、知人もいない地に飛びこみ、

やがて乗馬クラブを立ち上げた。

だれもが驚くような、素直なゆつたりした馬を育て上げます。

それには誉めること・尊敬すること、

豊かな自然が欠かせない。なるほどやはり、人間教育論です。

夢★大地グリーンバレー 梅木康裕

あるがまま、という貴さ。

人と自然が共作する阿蘇。